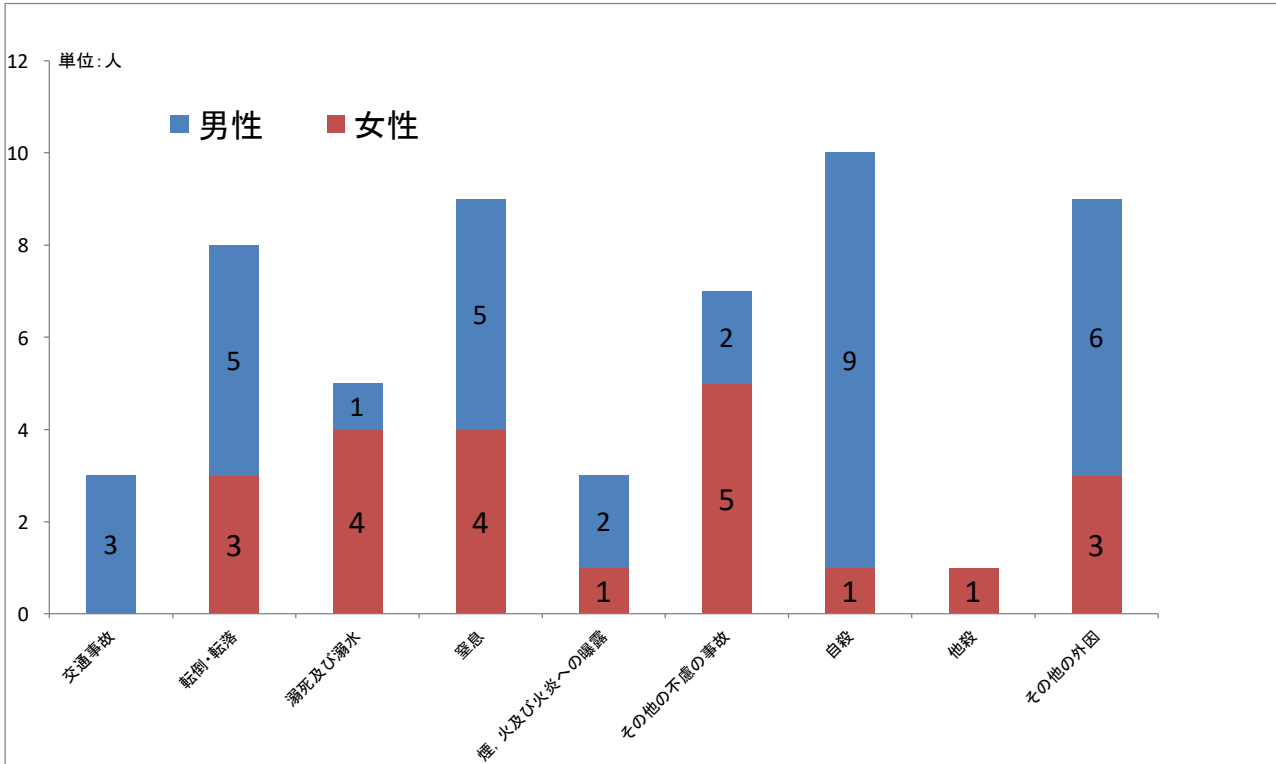


令和4年（2022年） 十和田市における外因死亡について

表1 原因別、男女別

外因死の原因については、昨年同様、自殺が最も多く、全体の約18%を占め、次いで窒息、転倒・転落の順で多い。
男女別では、多くの項目で男性の割合が高い。



(厚生労働省 人口動態調査より)

表2 年代別

年代別に見ると、高齢者（65歳以上）が全体の約73%を占めている。

表1の原因別で多数を占めた自殺は20代から80代まで幅広くなっている。

高齢者の外因死では、転倒・転落(8名)、窒息(7名)の順に多くなっている。

(単位:人)

年代	交通事故	転落・転倒	溺死及び溺水	窒息	煙及び火災への曝露	その他の不慮の事故	自殺	他殺	その他の外因	合計
0歳～4歳										0
5歳～9歳										0
10歳～14歳										0
15歳～19歳										0
20歳～24歳							1			1
25歳～29歳										0
30歳～34歳							1			1
35歳～39歳							1			1
40歳～44歳							1			1
45歳～49歳	1						2			3
50歳～54歳										0
55歳～59歳						1	1			2
60歳～64歳	1			2	1	1	1			6
65歳～69歳										0
70歳～74歳		1		2			1		1	5
75歳～79歳			2							2
80歳～84歳			1	3		2		1	2	9
85歳～89歳		4	2	2		2	1		3	14
90歳～94歳	1	3			1	1			1	7
95歳～99歳					1				2	3
100歳以上										0
合計	3	8	5	9	3	7	10	1	9	55

(厚生労働省 人口動態調査より)

※数値については、厚生労働省の人口動態調査の調査票情報を利用、独自集計しているため、公表数値とは一致しない場合があります。